

2024年11月17日

サッポロウォーカーカブル公募型実証実験成果報告会

宮の沢地区地域交流拠点にかか るウォーカーカブルシティの取り組み



所属 : 宮の沢まちづくり協議会

発表者 : 石屋商事(株)パーク事業部 横関宏美

概要

《目的》

西区宮の沢にある「宮の沢ふれあい公園」にて、開催される「コンサタウンふれあいフェスタ」には、地域の方が多く来場されます。
そこで、お祭り来場者の安全確保。道路空間の有効活用。歩行者天国化することによる地域の賑わいを向上させること。



開催は6回目

延べ利用人数

2023年 3,918名

2024年 10,523名

※祭り開始から終了まで定点で測定した数値。(参考値)



《実施団体》

宮の沢まちづくり協議会

※宮の沢地区の活性化に向けた自主的かつ継続的な協議及び活動を実施するために設置された団体。

商店会、連合町内会、近隣企業、団体に構成されている。

《実施日》

令和6（2024）年8月24日（土） 12:00～18:00

※道路通行止め（規制）時間 9:00～20:00

※コンサタウンふれあいフェスタ 12:00～19:30

《実施場所》

コンサふれあい通り（宮丘小学校通西線）

《実施内容》

コンサフレあい通り（宮丘小学校通り西線）の通行止め・歩行者天国化、
道路上での賑わいづくりと各拠点を結ぶ人流の創出。



検証



1、取り組み内容

①歩行者天国（通行止め）の実施

②賑わい創出

- ・人工芝、テーブル、ベンチ等の設置
- ・道路上での体験イベント（キックターゲット、紙すき体験）、SDGs関連ブース、縁日の実施

③人流

- ・スタンプラリー、看板設置によるPR

2、予想される効果



①歩行者天国（通行止め）の実施
⇒利用者の安全確保。

②賑わい創出

・人工芝、テーブル、ベンチ等の設置

⇒くつろげる（ゆっくりできる）場所➡滞在したくなる

➡心地よくまた行きたくなる。

・道路上での体験イベント（キックターゲット、紙すき体験）、
SDGs関連ブース、縁日の実施

⇒その場に留まりたくなる空間づくり。

③人流

・スタンプラリー、看板設置によるPR

⇒歩行者天国、お祭り会場、白い恋人パークを利用するお客様の人流を創出。

3、実際の結果

①歩行者天国（通行止め）の実施

- ・宮の沢まちづくり通信 配布（札幌市 8月上旬 6~7,000戸）
- ・広報さっぽろ 西区ページへの掲載（札幌市）
- ・その他SNSでの配信（札幌市、ISHIYA）
- ・事前告知看板設置（10日前に4か所）、告知看板設置（当日19か所）

宮の沢まちづくり通信

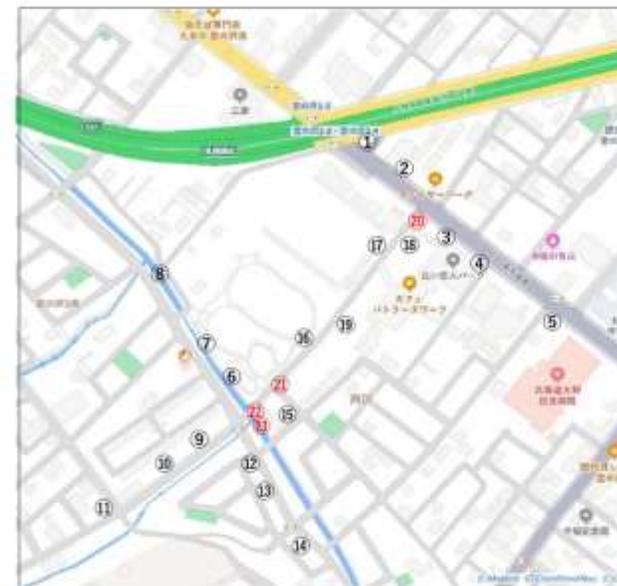


広報さっぽろ



周辺規制看板

規制・予告看板看板（設置場所）



●歩行者天国（通行止め）の実施



通行止め完了 9:30頃の様子

●利用者の安全確保



コンサタウンふれあいフェスタ会場の様子
(花火大会開催直前 19:00頃)

- ・ 18:00～19:00 2,314名 (時間帯入場者数。定点測定)
- ・ 19:15花火打ち上げ 19:30お祭り終了
- ・ 花火大会終了後に公園から多くの観客が帰宅する。



歩行者天国上の様子 (花火大会開催直前 19:00頃)



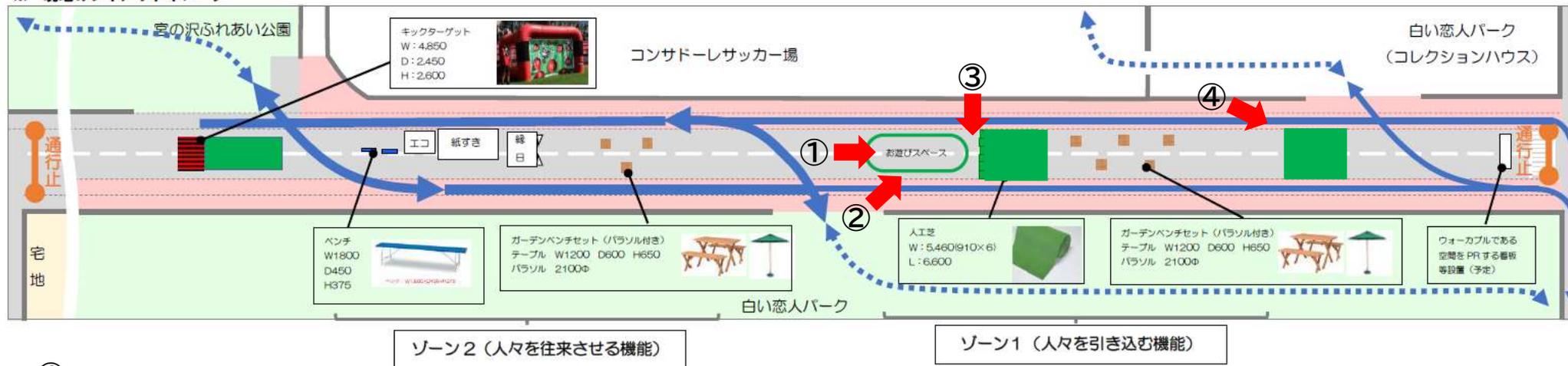
歩行者天国の様子 (花火大会終了 19:40頃)



②賑わい創出

●人工芝、テーブル、ベンチ等の設置

※ 現地のレイアウトイメージ



①

②

③

④



●道路上での体験イベント（キックターゲット、紙すき体験）、
SDGs関連ブース、縁日の実施



コンサドーレ キックターゲット



SDGs関連ブース



紙すき体験



縁日



- ・SDGs関連ブース 来場者数：208人
- ・紙すき体験者数：84名
- ・縁日（スーパーボールすくい）：402人
- ・縁日（千本くじ）：303人

③人流

●スタンプラリー、看板設置によるPR



スタンプラリーの様子



白い恋人パーク内に設置したイベント看板



■参加人数

・スタンプラリー景品交換数：198個



ペットボトルリサイクルについての説明と回収BOX

考察

- 検証1 歩行者天国（通行止め）の実施⇒利用者の安全確保。
➡同時開催の「コンサタウンふれあいフェスタ」を利用されるお客様の入退場に際し、メインとなる入退場口前の歩道が狭く、また交通量も一定量あることから、歩行者天国にすることで、事故も無く安全にお客様に全ての施設を利用いただけた。
- 検証2 賑わい創出 ・人工芝、テーブル、ベンチ等の設置⇒くつろげる場所、滞在したくなる場所をつくる。
➡空間を作ることができたが利用者は少なかった。イベント（マルシェ）や飲食ブース（キッチンカー等）があるとより良かったと感じる。
- 検証3 賑わい創出 ・道路上での体験イベント（キックターゲット、紙すき体験）、SDGs関連ブース、縁日の実施⇒その場に留まりたくなる空間づくり。
➡利用者は多かった。道路を使用するにあたり、使用条件が緩和されることで、イベント（マルシェ等）等の実施で更なる可能性を感じた。

検証4 人流 スタンプラリー、看板設置によるPR⇒歩行者天国、お祭り会場、白い恋人パークを利用するお客様の人流を創出。
 ➡スタンプラリーを通じて、歩行者天国⇔お祭り会場⇔白い恋人パークと周遊するきっかけができて良かった。
 白い恋人パーク内にイベントの告知を出したことで、歩行者天国やお祭り会場への利用につながった。

※札幌市の実証事業調査資料でも白い恋人パークの敷地内を通過して歩行者天国側への利用者が多かったことがわかる。

(5) 宮の沢地区ウォーカブルの地点ごとの歩行者数(4つの地点の1時間ごとの歩行者数の変化)

- ・ウォーカブルの効果も想定するために、以下の4点で時間ごとに平時とウォーカブルの実証事業開催時の歩行者数を測定した。
- ・平時も実証実験時も地下鉄宮の沢駅方面からの通行になる地点Aが多くなっている。
- ・特に実証実験の開催時は、地点Aの通行量が、2449人と突出して多くなっている。



参加者の感想

- ・歩行者天国の満足度は、高く「とてもよかった」「まあまあよかった」が全体の9割となっていた。

⑱地下鉄宮の沢駅から白い恋人パーク周辺の魅力や課題、今後のまちづくりに必要な取り組みや期待することなど、ご意見ありましたらお聞かせください。（抜粋）

- ・魅力的な場所が多い街に期待します
- ・今回コンサドーレとのコラボがより増した印象です。ありがとうございます。来年以降もっと盛り上がるフェスタ期待しております
- ・応援しています。がんばってください。
- ・子どもが楽しめるイベントがあると嬉しいです。
- ・ロケーションが良いので、秋冬など季節の特性を活かした変化に富んだイベントが展開されるとより良い取組になると思いました。今日は晴天でしたが、雨天などの悪天候でも集客できる対策があるのかどうか気になりました。
- ・積極的な住民参加 ・公園に行くまでに音楽が流れている ・飲食店を充実して欲しい
- ・白い恋人パークの駐車料金が発生するようになってから足が遠のいた。
- ・途切れ途切れだと思っていましたが、ルート148が出来たりして繋がりそうな感じがしました。白い恋人パークにはお友だち家族と来るので「楽しい場所」が繋がってもっと広がったら嬉しいです。
- ・カフェ、生ビールが欲しい。・映えスポットつくってほしい・友達同士で楽しく触れ合える場所が欲しいです・全力でみんな楽しむ！
- ・白い恋人パーク周辺の歩道や建物がレンガ調なので、小樽や函館のような歩きたくなる雰囲気があった。地下鉄駅からの動線上も一連の雰囲気を演出できればエリア全体の魅力が高まると感じた。
- ・観光客がたくさん訪れる所なのでもっとイベント等を増やして賑わいを作った方がいい。
- ・私は元来宮の沢に縁がある立場ではないが、地域のまちづくりを考える際に白い恋人パークを基軸に考えることが必然のような視点で設問を設定されるそのことに危うさを感じる。また、本日の実証実験視察に真の意味での地域住民の参加がどれだけあったのか。確信を持てるほどの情報を得ていないので表現が難しいが、本事業そのものと地域の関係性に微妙な違和感も感じている。
- ・障がいがある子どもと家族も来たくなるように、バリアフリー情報はもちろんの事、ユニバーサルシート（赤ちゃんのオムツ替えシートでは小さすぎる）のあるトイレや広めの休憩スペース、バギーでも通れる広さとなるような物の配置がされていると良いと思います。歩きたくなる=ユニバーサルであってほしいです。
- ・お店が増えたら嬉しい。・横断歩道を増やしてほしい

課題や工夫できる点など



課題・改善すべき点

- ・ イベントの充実・魅力アップ

➡ 滞在時間の調査で1時間以上滞在した人は、回答者の25%とそれほど多くない。同時開催の「コンサタウンふれあいフェスタ」を目的に歩行者天国を通過する方が多かった。という結果も出ている。お祭り会場とお客様を取り合うのではなく、一緒に開催することでお客様を分散できる方法を考えることでさらに安全で楽しい空間になる。

- ・ 定期開催

➡ 「コンサタウンふれあいフェスタ」との連携以外での開催、道路利用。定期的に行うことで、ウォーカブルにつながり、宮の沢地区の魅力アップにつながる。



感想や今後の展望

- ・ 取り組んだ感想

地域住民と宮の沢まちづくり協議会、西町地区夏祭り・盆踊り大会実行委員会、札幌市、他関係各所、ISHIYAの協力があり実施できた取り組みです。本当に感謝いたします。

イベントの調整や手続き関係で大変な部分もありましたが、大きな事故苦言も無く終了できたとおもいます。

- ・ 今後の展望

アンケートの結果も参考にして、宮の沢まちづくり協議会、西町地区夏祭り・盆踊り大会実行委員会と話し合い、次回のコンサタウンふれあいフェスタでの実施に向けて協議したいと思います。

その他ISHIYAとの取り組みでも、道路が使用できないかも模索していきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました

